



Title	語文 第52輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1989, 52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68800
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

▽いろいろな事情が重なって、刊行が予定より遅くなりましたが、ようやく『語文』第五十二輯の刊行に漕ぎつけました。刊行が遅れたことをお詫び申し上げます。

▽本輯には、国文学では、美濃部重克氏の『平家物語』の構成についての論、時松孝文氏の加賀掾浄瑠璃の論、国語学では、神谷かをる氏の『新撰万葉集』の語彙の論、前田富祺の『東大寺諷誦文稿』の片仮名の論、と四つの論考を所収することが出来、各時代の資料の、いろいろな視点からの研究が揃うこととなりました。

▽美濃部重克『中世伝承文学の諸相』、森山卓郎『日本語動詞述語文の研究』、後藤昭雄編『金剛寺藏 注好撰』と三冊についての書評・紹介を、それぞれ、岩瀬博、藤田保幸、阿部泰郎の諸氏にお願いすることが出来、喜ばしいことです。国語国文学会の会員の活動も目立っていますが、御研究を御著書にまとめられた際には是非御寄贈願います。今後も御紹介を続けてゆきたいと思えます。▽次は、二輯合併号として、島津忠夫教授の退官記念号を三月に刊行の予定です。こちらの方もよろしく願います。(前田富祺)

語文 第五十二輯

平成元年五月二十日 印刷

平成元年六月一日 発行

編集者 大阪大学国語国文学会

〒560 大阪府豊中市待兼山町一―

大阪大学文学部国語国文学研究室

代表 信多純一

振替口座 大阪 四―二四六四一

電話 (〇六) 八四四―一一五一

印刷 図書印刷 同朋舎